

平成30年度 事業所(総社はばたき園)における自己評価結果(公表)

はばたき	チェック項目	はい	いいえ	出された意見:工夫している点や課題	改善内容又は改善目標や対応方針
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	76.5	23.5	・人数や部屋を分けるなどしている。 ・法の基準を遵守している。 ・せまい ・少し狭いので、子どもの数を減らす。	無理な状況にならないよう、クラス編成については慎重に行っていく。
	2 職員の配置数は適切であるか。	63.2	36.8	・職員の人数はもっとほしい。 ・人数が少ない。人員の確保を切実にお願する。 ・子どもの人数に対しては、適切だと思うが、子どもの状態によっては人数が足りないと思う。 ・クラスの子どもの様子にもよるが、職員の人数が足りず、子ども一人一人じっくり関わることが難しいことがよくある。特に他の子に手が出てしまう子どもには、必ず一人は職員がついておきたい。 ・普段はよいが、職員が休みの時困ることがある。	今後の職員の動向、応募者の有無等に左右されると思われるが、極力適正な人数が配当されるよう努力していきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	100.0	0.0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	100.0	0.0		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	93.3	6.7	広く職員の意見を聴取している。	年度当初計画されたプランに従って行動し、毎月の職員自己評価、年度末の事業所評価や局長、施設長との面談を通して、計画的にPDCAサイクルによる業務改善が行われている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	100.0	0.0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	100.0	0.0		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	94.4	5.6	・受講を希望する研修及び要望等を提出している。 ・パートは参加していない。	外部の研修は、原則希望があれば参加してもらっている。また、パートの方を含め、諏訪先生の職員研修に参加してもらうなど、研修の機会を多く確保している。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	92.9	7.1	分析はしているかと言われると、ないと思う。	太田ステージもPEPもアセスメントツールなので、園として使用していると考え。結果をどう活かすかということが、今後の課題かと思われる。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	92.9	7.1	アセスメントツールは太田ステージのみで、行動の状況をはかるのではない。	

はばたき	チェック項目	はい	いいえ	出された意見:工夫している点や課題	改善内容又は改善目標や対応方針	
適切な支援の提供	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	84.6	15.4	ガイドラインを具体的に読んでいない。	ガイドラインを良く読み、子供に必要な事項を最優先に個別支援計画を立てるようにする。内容を網羅的に配置するのではなく、個に応じた必要な支援計画を立てるよう心がける。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	100.0	0.0	支援計画の内容を毎日チェックしているので、そこに重点を置いて支援している。	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	92.3	7.7		
	14	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか。	92.3	7.7	十分にできていない。	プログラムのどこが十分できていないかを検証し、指導に有意義な工夫をしていく。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	100.0	0.0		
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	61.5	38.5	・確認できる時はしているが、必ずではない。 ・パートは9:30からの出勤なので、具体的には難しい。 ・パートの先生やバスにも乗るので、話し合う時間はない。 ・十分な打合せができず、子どもが来てからその場で決めることもある。早めに話し合うようにしていきたい。	各クラスで準備しているかもしれないが、支援開始前、支援終了後、パートの先生と面と向かって話し合う時間が持ちにくい場合は、伝達ノートなどを活用して、指示やお願い事項が伝わるようにするなど工夫をする。 また、子供の様子などから、翌日予想されることについては早めに準備し、対応できるように職員間の連絡を密にしておく。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	76.9	23.1	・必ずではないため、気をつけたい。 ・支援計画の内容について振り返ることはあるが、必ずではない。	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	85.7	14.3	支援計画の内容をチェックするようにしているが、それ以外の細かな内容までできていない。	できるだけ具体的に記録をとり、効果的な支援につながるようにしていく。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	100.0	0.0	毎日チェックしていることから、支援計画が合わないようなら、時期を見て変えるようにしている。	通所支援計画の見直しは定期的に行っているため、モニタリングは十分できている。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか。	88.9	11.1	実施なし。	移行支援の場以外では、こうした会議は開かれていないので、該当無しと考える。	
21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	100.0	0.0	市とは連携している。	評価通り、保健福祉課、子ども夢づくり課などとの連携した取組は十分できていると考える。	
22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	84.6	15.4	訪問看護等は時にはあるが、今後必要である。	医療的ケアが必要な場合は、連携できていると考える。	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	100.0	0.0			

はばたき	チェック項目	はい	いいえ	出された意見:工夫している点や課題	改善内容又は改善目標や対応方針
関係機関や保護者との連携	24	93.8	6.3	就学児担当になる機会がありませんので、その時には情報共有など行っていきたい。	就学担当を中心に、移行支援に向けて各園、支援学校、小学校等との間で、情報共有や相互理解の取組はなされていると考える。
	25	93.8	6.3	同上	同上
	26	81.8	18.2	まだ、十分ではない。	川崎医療福祉大学の諏訪准教授に年7~8回来園いただきアドバイス等いただいているので、十分と考える。 来ていただいた機会をしっかりと活かせるよう、学んだことを指導に生かすようにしていきたい。
	27	14.3	85.7	全くない。今後していける機会を持ってほしい。	他園健常児との交流が今までなかったのには、それなりの理由があったかと思われる。交流と言っても、一度や二度ではあまり意味がなく、物理的にも難しいように思う。交流する目的や必要性、対象となる園との交渉など、事前にしっかりとした計画が必要だと考える。 現段階では、移行支援に伴った、体験入園などの交流以外は、必要性を感じていない。
	28	62.5	37.5		園長等が園の代表として協議会に参加しているため、十分対応していると考えられる。
	29	100.0	0.0	連絡帳や送迎の方は、直接話すようにし、共通理解を図るようにしている。	いつもこまめに連絡していただき感謝している。
	30	100.0	0.0		
保護者への説明責任等	31	100.0	0.0		
	32	92.3	7.7	そこまではしていないと思う。	発達支援計画については、何らかの形で保護者には説明し、子供たちの指導に生かしてほしい。
	33	100.0	0.0		
	34	100.0	0.0	もっと関わりや保護者同士のつながりなどの支援を行いたい。	園として、保護者会の運営にはできる限り協力している。引き続き、園として協力できることは続けていきたい。
	35	100.0	0.0		
	36	100.0	0.0		
	37	100.0	0.0	守秘義務の徹底に努めている。	特にUSB等の取り扱いには注意するようにする。

はばたき	チェック項目	はい	いいえ	出された意見:工夫している点や課題	改善内容又は改善目標や対応方針
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0	0.0		
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	71.4	28.6	地域住民を法人役員に選任している。	法人の評議員に地域の方をお願いしているが、園の行事に地域の方を大々的に招待するスペースもメリットもないと考える。
非常時等の対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0	0.0	・感染症対策では、研修を受けたとおり、食品の温度(十分な加熱)、手洗いに気をつけ、清潔な環境を保つことに心がけている。 ・定期的を実施している。	保護者の評価がやや低かった。園で取り組んでいる毎月の避難訓練の様子など、園便りで保護者にお知らせするなど、アピールが必要かと思われる。
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0	0.0	定期的を実施している。	火災訓練は月1回以上必要と指摘を受けたので、来年度は不審者訓練とは別にするか、抱き合わせにするか計画していきたいと思う。
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0	0.0		
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0	0.0	・アレルギーをもつ親子様よりいただいた医師の指示書により除去を行っている。 ・半年に一度、保護者と面談をして、医師の診断書をもとに、アレルギーについて確認をしている。	アレルギー対応は、マニュアルに従って、適切に行われている。
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	93.3	6.7		
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0	0.0		
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	62.5	37.5		身体拘束のマニュアルを作成し、職員全員に研修等で周知を図っている。